

第4回 矢作川水系流域委員会の開催

矢作川水系河川整備計画策定後、社会情勢の変化や地域の意向、河川整備の進捗状況や進捗の見通し等を適切に反映できるよう整備計画の点検を目的として、河川に関する学識経験を有する委員を集めて「矢作川水系流域委員会」を適宜開催しています。

今回「第4回 矢作川水系流域委員会」を開催し、最近の河川事業を取り巻く話題、矢作川水系河川整備計画の進捗状況（河川の維持に関する事項）についての報告に対して、意見を頂きました。

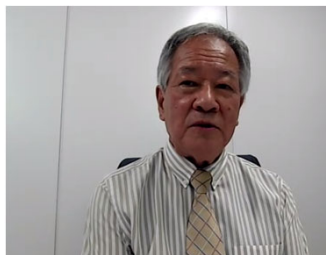
【開催概要】

日時：令和3年10月18日（月）
13：00 - 14：45

会場：WEB開催

【主な議事】

- ・最近の河川事業を取り巻く話題
- ・矢作川水系河川整備計画の進捗状況（河川の維持に関する事項）



辻本 哲郎 委員長



内田 臣一 委員



小野 悠 委員



山本 敏哉 委員



溝田 大助 委員



豊橋河川事務所 所長



豊橋河川事務所



小池 則満 委員



戸田 祐嗣 委員



松本 嘉孝 委員

【主な意見】

- ・利水ダム等の事前放流に関して、効果を定量的に示せると良い。
- ・治水上、樹木伐採等の維持管理が必要であることは認識するが、生態系に配慮した樹木伐採を進めてほしい。
- ・河道管理の効率的な実施へ向けて、航空レーザ測量等を活用することは良いことである。
- ・洪水ハザードマップの普及率・認識率向上のため、普及へ向けた取り組みを流域全体で進めてほしい。
- ・水質事故について、わかる範囲で事故原因、被害範囲等についても整理して示した方が良い。
- ・今後、鵜の首狭窄部の掘削工事が進められるが、工事箇所のモニタリングを行い、結果を公表してもらいたい。
- ・刈草や伐採木の無償提供について、処理費用の削減や資源の有効利用という観点でとても良い取り組みである。引き続き、普及促進のための取り組みを進めてもらいたい。